

特別の教科 道徳

1 学習の目標

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、以下に示す(1)～(4)を育み、よりよく生きるための基盤となる道徳性を培うことを目指します。

(1) 道徳的判断力

善悪を判断し、様々な状況下で人間としてどう対処するのがよいかを判断する力。

(2) 道徳的心情

善を喜び、悪を憎む感情。

(3) 道徳的実践意欲

道徳的価値を実践しようとする意志の働き。

(4) 道徳的態度

判断力、心情、意欲に裏付けられた身構え。いつでも道徳的行為ができる状態。

2 学習の内容

裏面参照

3 評価の方法

道徳的価値との関わりにおいて、物事を広い視野から多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりする学習活動における様子を基に、文章による評価を行います。

4 授業の約束（道徳の時間とは…）

- ・道徳の時間は、人間としての生き方を探す時間です。
人はいろいろな考えを持っています。自分の考えを素直に話してください。
- ・道徳の時間は、自分の思いや考えで話して構いません。
しかし、他人を傷つけるような発言や、関係のない発言はしないでください。
- ・級友や先生の話をしっかり聴く姿勢を大切にしましょう。「聞く」ではなく、耳と目と心に向けた「聴く」の姿勢です。
- ・答えがわからないときは、「時間をください。」と言ってゆっくり考えましょう。「わかりません」という答えはありません。
感じたこと、思ったことを発表してください。
- ・同じような答えのときは「同じです」と答えずに、「わたしも〇〇さんと同じで、〇〇と思います。理由は〇〇だからです。」というように、自分の言葉で表現してください。

2 学習の内容

A 主として自分自身に関すること

- (1) 自主、自律、自由と責任
- (2) 節度、節制
- (3) 向上心、個性の伸長
- (4) 希望と勇気、克己と強い意志
- (5) 真理の探究、創造

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 思いやり、感謝
- (7) 礼儀
- (8) 友情、信頼
- (9) 相互理解、寛容

C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (10) 遵法性維新、公德心
- (11) 公正、公平、社会主義
- (12) 社会参画、公共の精神
- (13) 勤労
- (14) 家族愛、家庭生活の充実
- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実
- (16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
- (17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
- (18) 国際理解、国際貢献

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (19) 生命の尊さ
- (20) 自然愛護
- (21) 感動、畏敬の念
- (22) よりよく生きる喜び